# 福島市農林業振興基金提案事業 事業計画書(記入例)

福島市長様

団 体 名 農業企画組合 代 表 者 代表 農業 太郎 (役職・氏名) 代表者住所 福島市五老内町3-1 連 絡 先 080-××××-×××

令和7年度福島市農林業振興基金提案事業について、次のとおり事業計画書を提出します。

## 1 事業種別

- ✓ 単独事業
- □ 国県等補助対象事業

## 2 団体構成員

フリガナ 氏名 (代表者含む)	役割 ※	住所	生年月日	品目ごとの耕作面積	認定農業者は
のうぎょう たろう		福島市五老内町	S50. 12. 24	モモ 1ha、リンゴ 0.5ha	0
農業 太郎		3ーア			O
もも たろう		福島市五老内町	\$60.8.12	水稲 10ha、モモ 1 ha	
桃 太郎		3ーイ			
なし たろう		福島市五老内町	H3. 10. 20	水稲5ha、モモ2ha	
梨 太郎		3ーウ			

※役割の例:代表、経理、機械管理者、耕作者等。

☑ 上記3人以上が、過年度に農作物の販売実績がある。	
□ 本年度において、他の農林業振興基金提案事業(包括的交付金事業を除く)の	り構成
員でない。	
※他の提案事業申請団体の構成員である場合は、名前と事業名を記入。	
(	
□ これまでに、農林業振興基金提案事業の補助を受けたことがない。	
※ある場合は内容を記入(年度: 、内容:	)
□ 納税状況を確認するために、関係部署に照会することに同意する。	

#### 3 事業実施場所

### 福島市 五老内町3-1

※実施場所を記した地図を添付すること。

4 事業の目的・目標、現状と課題、事業内容

(目的・目標)

例①「地域ぐるみの防犯対策で、果物の盗難被害をゼロに」

〇〇地区の農業者 20 戸の果樹園に盗難防止用の防犯カメラを設置する。それにより、盗難の抑止、被害判明時の迅速な対応につなげる。

例2「スマート農業推進のためのほ場づくり」

リンゴに高密植化栽培技術を導入し、作業の単純化、収益性の向上を図る。また、 作業効率が高い果樹園において、自動運搬機等、新たなスマート農機具を導入する。

(現状と課題)

例①○○地区では、シャインマスカットの収穫時期である7月から 10 月にかけて、毎年、●●万円規模の盗難被害が発生している。警察署との合同パトロールなど防犯対策を実施しているが、被害はなくならず、農業者の生産意欲を減退させる原因となっている。

例②高密植化栽培は、高度な剪定技術を必要とせず、わい化栽培以上の早期多収、均 質生産、作業効率向上を目標とした栽培方法である。当団体の構成員は個々に、自動 草刈りロボットを導入しており、今後もスマート農機具の導入に意欲的である。多様 なスマート農機具を導入するにあたり、効率的な「ほ場づくり」が必要不可欠である。 また、高齢化が進む当地区において、収益性の高いくだもの生産のために、ほ場の空 間利用効率が高く、より早期から高い収量が得られる栽培方法を実証、実装する。

#### (事業内容)

- ※導入機器の詳細な性能を記入
- ※機械購入費等、経費の必要性についても明記。
- ※事業を実施することの効果、地域農業の課題をどのように解決するのか、地域にどうような影響を及ぼすのか、を記入。

例①△△社製の防犯カメラを導入する。ソーラーパネルと一体型であるため、電源が不要で、どんな場所にも設置できる。事業に賛同した○○地区の農業者 20 戸がそれぞれ2台を、果樹園の出入り口や死角となる場所などに設置する。また、「防犯カメラ稼働中」の看板を分かりやすい場所に設置することで、盗難抑止を図る。本事業を実施することで、○○地区の果樹盗難被害を防止するだけでなく、万が一被害があった際、関係機関への迅速な状況証拠提出で、被害の拡大を食い止める。地域全体で盗難防止に取り組んでいることを広報することで、地域全体の被害防止につなげるほか、生産者の生産意欲向上に資する取り組みとなる。

例②高密植化栽培技術を学ぶため、先進地である長野県の果樹試験場を視察する。また、トレリス(支柱)等、高密植化栽培で必要な資材を購入、設置する。高密植化栽培を導入している農家は県内でも珍しく、実装した成果はモデルケースとして SNS や視察受け入れなどで広く発信する。

#### 5 事業計画(最低3カ年)

項目	本年度(現状)	2年度目	年度(目標)
耕地面積	20a	25a	30a
収量	200kg/10a	210kg/10a	220kg/10a
収益	50 万円	75 万円	100 万円
その他			
( )			

※5カ年、10カ年と長期的な目標を設定することもできる。

□ ⑩消費拡大の推進(販路拡大、農作物の PR、食育の推進等)

※項目については、適宜、削除、追加可能。

## 6 福島市農業・農村振興計画 10 の施策との合致(当てはまるものに✓)

□ ①担い手の確保・育成(就農者や後継者の確保、学習機会の創出等)
□ ②多様な人材の活躍促進(女性の経営参画、農福連携、異業種の参入等)
☑ ③生産性・収益性の向上(農地の集積・集約、基盤整備、スマート農業導入等)
☑ ④農業経営の安定化(経営安定対策等の活用、ブランド化の推進等)
□ ⑤ 6 次産業化の推進(新商品の研究開発、加工施設の活用等)
☑ ⑥農村環境の保全(多面的機能の維持、有害鳥獣宅対策、防災対策等)
□ ⑦農村環境の活用(中山間地域の振興、観光との連携等)
□ ⑧農産物の安全性の確保と品質保持(GAP 取得、病害虫対策等)
□ ⑨気候変動への対応(環境保全型農業、栽培管理技術、設備の導入等)

#### 7 事業経費

内容	経費所要額	備考
	(税込み、円)	
先進地視察交通費	100,000	
〇〇〇〇〇購入費	2,000,000	
合 計	2, 100, 000	

<sup>※</sup>見積書等を添付すること。

## 8 収支計画

収入	金額(円)	内訳、負担割合等
福島市農林業振興基金 事業補助金	1, 050, 000	
自己負担金	1, 050, 000	※構成員の負担割合等を記入
		(負担額内訳)
		・農業太郎 350,000円
		・桃 太郎 350,000円
		・梨 太郎 350,000円
合計	2, 100, 000	

# 9 事業スケジュール

令和〇年〇月機器納品令和〇年〇月××××令和〇年〇月事業完了